



未来は変えられる！ 戦争ではなく平和なくらし！ 2025憲法大集会に参加！

5月3日、東京都江東区の東京臨海広域防災公園で「平和といのちと人権を！5・3憲法集会実行委員会」が主催する「未来は変えられる！戦争ではなく平和なくらし！2025憲法大集会」が開催され、3万8,000人の市民・労働者が結集しました。

「実行委の菱山南帆子さんは開会挨拶で「平和を守り、軍事に頼らない政治こそが真の人権保障であり、憲法の本質そのもの」と強調し、「かつて侵略戦争で世界を壊し、自滅してきた日本は、ミサイルで戦争をつくり出すのではなく、憲法をもって平和をつくり出すときだ」と述べました。

昨年の総選挙で自民党は過半数を割り、改憲勢力は3分の2以下に後退しました。しかし参議院では、今も自公が多数を占めています。7月には参議院選挙が行われ、早期の解散総選挙の可能性もあるなかで、改憲勢力は虎視眈々と日米軍事同盟強化や敵基地攻撃能力保有のための大軍拡、自衛隊の基地機能強化などの戦争体制づくりを狙っています。また、憲法審査会も継続して開催され、改憲への動きが止まることはありません。



JR東海労はこうした状況を許さず、あらゆる戦争に反対し、憲法改悪を阻止するために、多くの市民・労働者と共に集会とパレードに参加し、戦争をさせない決意を打ち固め、平和憲法の大切さを市民に訴えました。